

今週の献立表

【令和3年11月15日～令和3年11月21日】

	11月15日 (月)	11月16日 (火)	11月17日 (水)	11月18日 (木)	11月19日 (金)	11月20日 (土)	11月21日 (日)
朝食				<ul style="list-style-type: none"> ・ししゃもフライ ・千草焼き ・里芋煮 ・きのこわかめのポン酢和え ・フルーツ ・ごはん ・味噌汁 ・漬物 ・味のり ・手作りパン ・マーガリン ・ジャム ・牛乳 			
昼食				<ul style="list-style-type: none"> ・牛肉と玉ねぎのすき焼き炒め ・パリパリ春巻き ・チリコンカーン ・五目金平 ・キャベツの梅肉酢和え ・フルーツのカルピス和え ・お吸い物 ・ごはん ・漬物 		<p>11月20日</p> <p>ピザの日</p>	
夕食		<p>11月16日</p> <p>幼稚園記念日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポークチャップ ・カニクリームコロッケ ・ひき肉と春雨の炒め物 ・鶏じゃが ・おくらとコーンのサラダ ・ほうれん草の香り和え ・フルーツカクテル ・野菜スープ ・ごはん ・漬物 		<p>食事前には手を洗いましょう！</p>		

◇◆◇ しちごさん ちとせあめ 七五三には千歳飴がつきものなのはなぜ？ ◇◆◇

11月15日は七五三。子供の成長を願い、お宮参りをする日です。その時に付き物なのが、長い紙袋に入った千歳飴です。千歳飴は、水飴を煮詰めてよく練り、空気を含ませることで白くして、色付きの場合は色素を混ぜ込み、子供の成長や長寿の意味を込めて細長い棒状に作るのだそうです。また「千歳」という言葉には「千年」という意味があり、松竹梅や鶴亀、紅白といった縁起のよいものがあしらわれています。発祥には諸説ありますが、神社の門前で売られた飴を、お宮参りの帰りに買い求め、親類やご近所に配った事が始まりだという説があります。「千歳飴」と呼ばれて売られるようになったのは、の製造が確立されてきた江戸時代の初め頃と言われています。

